

厳しい“冬”を乗り越えて

バーベキュー場下の池で野鳥の観察中、水面や木々のてっぺんや空を見上げていてふと視線を落とすと、キショウブの葉に何かがあります。目を凝らして見詰めると、細くて細くて、小さなトンボのオスとメスが連結しているのを発見！長さは3～4cmぐらい。上がオスでメスをしっかりとホルドしています。

名前はトンボの特徴をそのまま説明しています。このトンボ達は、小さく細い姿のまま、草むらの中でジッと冬を越します。ですから「ホソミオツネトンボ」。漢字で書くと「細身越冬蜻蛉」。納得できるでしょ！

彼らは冬の間、身を隠すためにオスもメスもちかも茶褐色で、枯れ草と同じ色なんです。暖かくなって水がぬるむ頃から、体の色が徐々にブルーになり活動が活発になります。やがてパートナーと出会い、こうして連結しているのです。下のメスは一部茶褐色ですが、やがてオスのように全身ブルーになります。こんなに細く小さな体で厳しい冬を乗り越え、やがてパートナーと出会い命をつないでいくんです。自然は感動でいっぱいです！



森の日記

3月25日(日) サギソウ球根植え

暖かい春の日曜日。朝から昼にかけて、肥田町盆栽会の方々が、たくさんの「サギソウの球根」を一粒ずつ丁寧に湿地に植えてくれました。ありがとうございました。夏の終わり頃、空を優雅に舞う真っ白な鷺の姿のような、愛らしい小さな白い花が楽しめることでしょう。

最近、イノシシが湿地を荒らしサギソウが減っていたところ。さらに悲しいことに、昨年は「サギソウ」50株ほどが心ない人に盗掘され、散策を楽しむ人たちと心を痛めていたところでした。

自然は、みなさんの“大切な財産”。みんなで大切にしていきたいですね。



教室のご案内

5月

陶史の森写生会 (要申込、雨天中止)

5月3日(木・祝)・4日(金・祝)午前9時～午後3時
対象は、保育・幼稚園児、小学生です。作品はネイチャーセンターに展示し、入賞者には賞状・賞品があります。
※画用紙と画板は用意します。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

5月27日(日) 午前9時～11時30分
春の野鳥を観察します。

6月

ミツバチ教室 (要申込・定員120名)

6月17日(日) 午前9時～11時30分
ミツバチの蜂蜜搾りを体験し、その蜂蜜を味わいます。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

6月24日(日) 午前9時～11時30分
春の野鳥を観察します。

